



# 自民党 京都市会議員団 ニュース

平成31年(2019)1月13日発行

■発行人／井上与一郎

■編集委員／みちはた弘之、田中たかのり、森田守、  
加藤昌洋、平山たかお

〒604-8571 京都市中京区河原町御池

TEL.075(222)3718～23 FAX.075(257)3091

<http://jimin-kyoto.jp/>

No.63

## 平成30年11月市会 補正予算案を成立!!

～地震・豪雨・台風など

相次ぐ災害からのいち早い復旧を!!

今市会では、幼稚園における一時預かり事業や災害対応を含む総額90億4800万円の補正予算を審議し、可決いたしました。災害対応としては、9月補正予算で実施をした緊急財政措置に引き続き、国や関係者と鋭意協議をし、更なる復旧の加速に向けた補正となつてい

ます。我々、自民党京都市会議員団は、地元選出の国会議員とも連携をし、各省庁へ災害復旧に関し、要望を行いました。(下段記事に詳細)その結果を受けての補正予算案を徹底的に議論を行い、被災者の方々に寄り添った復旧政策となるように尽力致しました。



倒木被害の様子(西陣杉坂線)

### 都市・生活基盤の復旧、被災者生活再建支援等

主な施策	・道路・河川・公園等の災害復旧	約18.8億円
	・文化財の復旧	約 1.9億円
	・その他施設等の復旧等	約 0.4億円
	・被災者生活再建支援	約 1.0億円

	第1班	第2班	第3班
省庁	内閣官房、内閣府、 法務省、文部科学省、文化庁	総務省、国土交通省、観光庁	厚生労働省、農林水産省、 経済産業省、環境省、林野庁
主な提案・要望事項	○今夏の自然災害による被害からの早期復旧や防災・減災対策の強化 ○子ども・子育て支援と教育の充実 ○違法「民泊」の根絶や、宿泊施設の適正な運営及び市民生活との調和の確保 ○有害鳥獣対策に係る支援制度の充実等 ○文化庁の機能強化及び全面的な京都移転の推進 ○交通利便性の高い市街地に所在する国有地の活用の検討 ○安心安全なまちづくりのための社会資本整備 ○将来を見据えた広域的な道路ネットワークの構築 ○北陸新幹線の大阪までの一日も早い整備と、関西国際空港への延伸の実現 ○リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業及び、関西国際空港への延伸の実現 ○大都市財政の実態を踏まえた財源の確保等		

## 省庁への 政策・ 予算 要望行動



またきち  
(京都市会マスコットキャラクター)

自民党京都市会議員団は、11月19日と20日にかけて、「度重なる災害へ

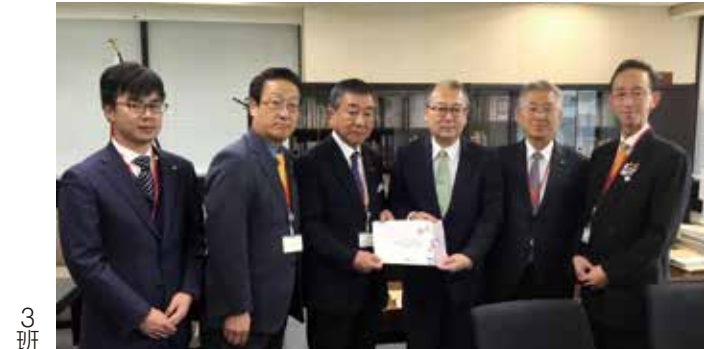
の対応・対策」や「いのちとくらしを守り、安心と豊かさを実現できる社会を実現するために」、「日本全体の

市財政の実態を踏まえた財源の確保等」、京都府にとつて必要な国の施策・予算に関する提案・要望を実現するべく、3班集体で省庁へ要望行動を実施しました。

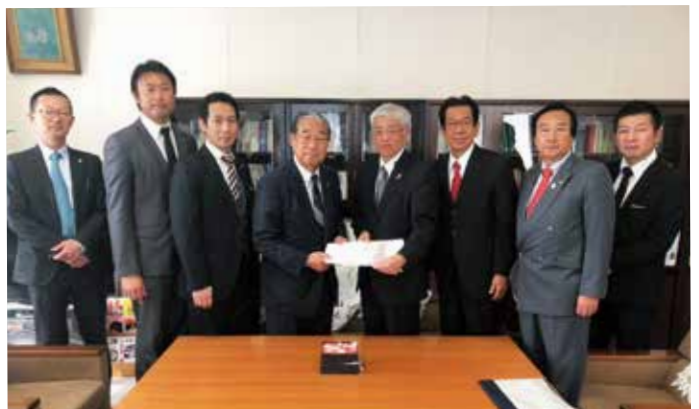
地方創生の推進に、京都が積極的な役割を果たすために、「安心安全なまちづくりと国土の調和のある発展のために」、「大都市財政の実態を踏まえた財源の確保等」、京都府にとつて必要な国の施策・予算に関する提案・要望を実現するべく、3班集体で省庁へ要望行動を実施しました。



2班



3班



1班

京都市において二元代表制の一翼を担う京都市会の最大会派かつ責任会派である我々自民党京都市会議員団が、市長と連動して、京都市に必要な国の施策や

予算を、各省庁幹部へ直接伝えることで、様々な政策の実現に向けて前進することが期待できます。今後とも、市民の皆様の思い、願いを実現できるようしっかりと取り組んで参ります。



# らくなん進都は南部発展の鍵

## 拘置所・運輸支局敷地

### 国との交渉、アクセス向上が重要

●伏見区

#### 繁隆夫議員

■**繁隆夫議員**（質問）らくなん進都に唯一残された大規模な国有地である京都拘置所及び京都運輸支局の敷地の活用について、国に対し、どのように働きかけていくのか。また、らくなん進都内の更なる発展、活性化に向け、まちづくりをどのように取り組んで



拘置所周辺の写真

いくのか、お答えください。

■**門川大作市長**（答弁）京都拘置所及び京都運輸支局の敷地の活用は、京都・近畿の発展に大きく寄与すると確信していることから、高いハードルがありますが、今後とも英知を集めて様々な可能性を追求し、国に対して粘り強く要望してまいります。

らくなん進都の活性化に向け、具体的な規制の在り方を検討し、土地所有者への実効性ある働き掛けの強化を図るとともに、地区内の交通環境の向上に向けた検討等も含め、あらゆる取組を力強く進めてまいります。

#### 環境問題貢献企業創業・成長支援推進

■**繁隆夫議員**（質問）今後、プラスチック材料の炭化など環境浄化に役立つ新たな技術から、環境問題の解決を図るアプローチが重要です。持続可能な社会の発展に寄与する企業創出、成長支援に、どのように取り組んでいけるのか、お答えください。

#### ●繁隆夫議員の質問項目●

- 1 平成31年度予算編成方針について
- 2 京都市における安心安全のまちづくりの取組について
- 3 環境問題の解決に寄与する企業への支援について
- 4 らくなん進都のまちづくりについて
- 5 大岩山の違法造成地の安全確保について

#### 中村三之助議員

●上京区

## 自助・共助の精神を高め 自主防災部の取組を消防署が支援

■**中村三之助議員**（質問）今日の大災害の時代においていかに被害を少なくし、ひとたび災害が起こったとしても最

■**植村哲副市長**（答弁）当該違法造成地については、土地管理者に対し、いわゆる「ふとんかご」の設置を命じ、これらの措置の完了を確認して

おります。引き続き、恒久的な安全性を確保するための抜本的な対策工事の速やかな実施を求めるとともに、本市としても、平成31年1月末を目

途に必要な対策を取りまとめたい。たうで、その実施を厳しく求め、行政代執行も視野に入れ、毅然として取り組んでまいります。

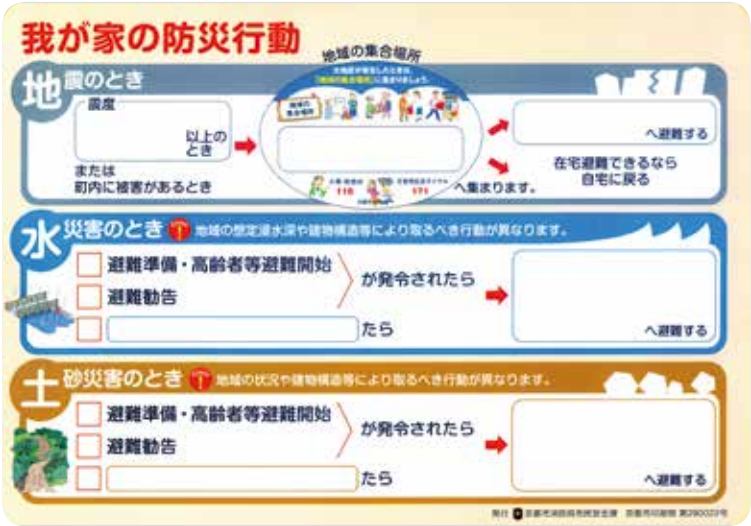
## 災害時の行動啓発に動画活用

ら、私の提案で作成していた、我が家の防災行動シール」の記入に活用するなど「自助」「共助」意識と行動の喚起に大変効果的であると考えます。いかがか？

■**門川大作市長**（答弁）共助の徹底は、自主防災部長が交代されても地域の防災力が維持されるよう活動ファイルを作成し、消防署員が随時検証

#### ●中村三之助の質問項目●

- 1 防災意識の向上と行動の喚起について
- 2 防災教育の在り方について
- 3 ワールドマスタースゲームズ2021関西の成功に向けての取組強化について
- 4 観光客の増加に伴う受入環境整備の必要性について
- 5 虹の子クラブについて（要望）
- 6 「人と動物が共生できる社会」に向けた取組の推進について（要望）



全戸配布された自助のための防災行動シール

#### 上京の郵便局が地域の観光案内協力

することにより自主防災部の取組が確実に引き継がれるよう努めて参ります。自助の徹底は、ご提案のように動画の活用の有効性から簡潔で分かりやすい動画を作成し、DVDやインターネットの活用により、あらゆる世代への周知を図って参ります。

■**中村三之助議員**（質問）上京区の郵便局のエリアマネージメント局（従前の特定郵便局）から、何か地域への社会貢献のアクティビティを行いたい旨の相談があり、つ

いては、ミニ観光案内所としての機能をしていただけないかとお話しした所、16局全てが協力しようとのことでありました。については、試行的にミニ観光案内所として機能していただくモデルケースにしたいだけだと思います。いかがか？

■**門川大作市長**（答弁）地域の郵便局は、住民の安心・安全のためのマナー啓発や地域の文化情報の発信拠点として、はもとより、旅の楽しみでもある人との触れ合いを提供するおもてなしの拠点としても大いに期待できるものであり、非常にありがたいお申し出です。地域密着型の観光案内の新たな拠点として期待しております。



【代表質問】 11月市会 (11月28日)

# 宿泊税100%徴収を目指し

## 宿泊施設の捕捉を急げ

未納業者を追跡し税の公平性を守る

●下京区

下村あきら議員

■下村あきら議員 (質問) 違法民泊を含めた宿泊施設の捕捉状況についてお聞かせ下さい。

また、税の公平性の観点から、全ての宿泊者に宿泊税を御負担いただき、全ての宿泊事業者から納入していただかなければなりません。本市として、今後どのように取り組んでいくのか、お尋ねします。

■門川大作市長 (答弁) 宿泊税を確実に徴収するためには、議員御指摘のとおり、まずは違法民泊を含めた市内の全ての宿泊施設を捕捉する必要があります。このため、本市が保有する旅館業法等の許可・届出情報を基に課税対象施設を捕捉したうえで、その経営実態の把握を進めて参りました。納期限までに納入がない事業者には徹底した税務調査や強制徴収を実施するなど、宿泊税の100%徴収を目指

し取組を進めて参ります。

若い世代の市外流出にストップを!

■下村あきら議員 (質問) 若者・子育て層の市外流出について、今後どのように歯止めを掛け、将来にわたって持続可能な都市の構築につないでいこうとされるのか、市長の考えをお聞かせください。

■門川大作市長 (答弁) 京都が誇る地域コミュニティや生活文化を守り、都市の魅力や活力を伸ばすうえで、京都で住みたい、学びたい、働きたいと考える若い世代が、将来にわたって暮らし続けるまちづくりを進めることが何より重要であります。下村議員御指摘の若い世代に手が届く魅力的な住宅が十分に供給されない状況、さらには市民が働くオフィスや産業用地が不足しているという状況にも正面から向き合い、これらの状況の打開とともに、便利で魅力的な拠点形成等が一層進むよ

う、スピード感を持って取り組んで参ります。

鉛管完全解消で安全安心の水道水へ

■下村あきら議員 (質問) 鉛製給水管の解消に向けたこれまでの取組の総括と、残る鉛製給水管に対してどのような取組を進められるのか、見解をお聞かせ下さい。

■山添洋司公営企業管理者 (答弁) 約18万件あった鉛製給水管は8721件まで解消

しました。今後、道路部分に残存する鉛製給水管は、水道配水管の布設替え等、様々な機会を捉え、解消に努めるとともに、宅地内の鉛製給水管の取替工事については、今年度から助成金額上限の増額や助成対象範囲の拡大などの制度充実を図り、お客様が安心

### ●下村あきら議員の質問項目●

- 1 宿泊税の捕捉状況及び今後の取組内容について
- 2 若年・子育て層の市外流出防止について
- 3 市内中心部のバス路線の観光客増加に伴う混雑緩和対策等について
- 4 山間地の水道施設への停電対策について
- 5 鉛製給水管の解消について

鉛製給水管の取替工事



して水道水を御利用いただけるよう取り組んで参ります。

# 持続可能な京都のまちづくり

## に向けた議論を

今後、市会では新景観政策や持続可能なまちのあり方に関する議論が活発に行われていきます。

京都市では、議会での侃々諤々の議論を経て、平成19年9月から新景観政策が実施されました。政策の実施にあ

たつては、建築物の高さやデザイン、屋外広告物の是正等多岐にわたる市民や事業者の皆様にご協力をいただき、着実に京都の景観は向上してまいりました。

昨年には新景観政策のスタートから10年となり、こ



これまでの

政策を振り返る

取組が行われてまいりました。

この10年間京都市内では、京町家は変わらず取り壊しが進み、入洛客の増加による一棟貸の簡易宿所等の増加、マン

ション・ホテルの建築ラッシュとなり、街並みも刻々と変化をしてきました。また、社会的な問題として、急激な人口減少・少子高齢化の進展を控えているなかで、空き家への対応が必要となつてまいりました。

このような状況の中で、景観面では「京都市新景観政策の更なる進化検討委員会」が、持続可能なまちづくりの観点としては、都市計画審議会において「持続可能な都市検討部会」が立ち上げられ、今後の京都のまちづくりのあり方について議論が行われています。

我々、自民党京都市会議員団では、これまでから本会議や各委員会において、進化する政策である新景観政策を今後どのように市民や事業者の皆様との合意を取りながら変化をさせていくかということや、持続可能なまちづくりに向けては京都市特有の都市特性も踏まえた上で、立地適正化計画の策定も見据えて居住の誘導も含めて活性化を図っていく必要があるのではないかとこのことを議論してまいりました。

今後、市民意見募集(パブリックコメント)を経て、委員会や部会から答申がされ、市会での議論がより活発にされていきます。我が会派としては、今後も京都のまちが育

### 持続可能な都市構築プラン(仮称)

#### 基本方針

- ①都心部と周辺部等の拠点の魅力・活力の向上
- ②安心安全で快適な暮らしの確保
- ③産業の活性化と働く場の確保
- ④京都ならではの文化の継承と創造
- ⑤緑豊かな地域の生活・文化・産業の継承と振興



んできた歴史を守りながら将来世代へとつないでいけるよう、今後も議論を続けてまいります。



伏見区 繁 隆夫

活力ある京都を維持、発展させていく礎は「人」であり、人と人、住民と地域の「つながり」であると思います。幅広い世代、多様な価値観の住民が支え合い、地域を活性化する取組の推進！

伏見区 みちはた弘之

全ての人が「仕事」「家庭」「地域・社会」での繋がりを大切にする「真のワークライフバランス」を実現することにより、文化、伝統の力で魅力あるまちづくりに邁進していきます。

西京区 西村 義直

従来の規制を今一度検証し、社会全体で景気や医療を始めとする福祉、農産業等の分野を前進させることで少しでも人口減少を食い止められるものと考え引き続き市民生活向上に尽力致します。

右京区 田中たかのり

人口減少と同時に、人口偏在・減少速度による社会の変化にも注視し、『住民の力』『地域の力』が発揮できる魅力ある京都をつくるために、未来の京都を築く柔軟な人づくりが重要。

南区 椋田 隆知

安心・安全・安定の保障が基本であり、その施策はスピード感を持ちつつ充分な議論を尽くして行うことです。責任をもつて丁寧な対応で、子育てや長寿社会を支える現役世代を全力で支援します。

山科区 富 きくお

世界に例を見ない超高齢社会となった我国で、人口減少への特効薬はなく、「地域の絆」を見直し、出産、子育て支援の環境づくりを地域はもとより国民全体で着実に整備する必要がありますと考えます。

中京区 津田 大三

国難である人口減少に対応する為には、すべての人が活躍する社会づくりが必要。健康長寿・女性の躍進・子供達の健全育成を京都経済の活性化で進めるといふ難しい舵取りを皆様と共に進めます。

上京区 寺田 一博

国際都市の京都は先人達から受け継いだ伝統と文化を守りながら多様な価値観との連携も求められています。それには京都市民が安心して暮らせる街が築かれてこそ実現できると考えています。

# 平成から次代へ 「人口減少社会への挑戦」

今も未来も、すべての人たちが住み続けられる「まち」であるために

未来の京都を切り拓く政策を自民党議員に聞きました。



皆さんの  
ご意見・ご要望を  
お寄せ下さい

〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
自民党京都市会議員団  
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

伏見区 橋村 芳和

「異なりを認めあいがら、ひとつを生きる」京都のまちづくりを！特に戦後復興にご尽力いただいた高齢者の方々の健康長寿のさらなる延伸を京都の根幹に据えた施策の実現に努める。

西京区 田中 明秀

少子化、人口減少が最大の政治課題。働き手の確保が難しい業種は外国からの労働力に頼らざるをえない。安全・安心に暮らせる治安維持に努め、共生できる環境づくりをしなければならぬ。

右京区 井上与一郎

京都は明治維新後、人口が激減、都市の危機に陥ったが、市民総力で番組小学校創設、琵琶湖疏水で発電し、市電開業などにより人口も増えた。今、我々は先人に倣い、市民総力で人口減を止めたい。

右京区 森田 守

日本が人口減少社会に突入し、少子高齢化が進行していることは間違いない。しかしこれに悲観することなくチャンスと捉え、すべての人が自信に満ち溢れた京都を目指します。

下京区 下村あきら

挑戦の要は、若者・子育て層の市外流出対策。代表質問で指摘したとおり、京都で住みたい、学びたい、働きたい、全ての人々が安心して住み続けられる、持続可能な都市の構築が急務。

東山区 平山たかお

本年は平成の御代から次代へ移る一年。諸先輩も若い皆様も、みながいきいき、活躍できるまちづくりをしていくべきだと考えます。健康長寿、子育て支援等々。市民が住みやすいまちへ。

上京区 中村三之助

人口減少社会への対策は、安心して子どもを育てることができる社会環境をいかに構築していくかにかかっていると思っております。一つ一つの施策を確実にしっかりとやっていきます。

北区 山本 恵一

小さなお子さんから高齢の方々まで、市民の皆様がライフステージに応じた健康づくりの取組を推進し、年齢を重ねても、いきいきと活躍できる「健康長寿」のまちを実現してまいります。

故小林正明氏におかれましては、平成30年12月4日にご逝去されました。生前のご支援に感謝申し上げます。